

【中高一貫教育】

保護者、児童に対する説明会での意見を十分に検討しながら、自習、講義のための施設整備を進めるとともに、中学・高校を通じて指導し、生徒からの疑問に的確に答えられる教員の育成に努めるなど、中高一貫教育校の開校準備を進める。

〔教育長－松田泰典議員〕

中学校卒業生が更に減少する傾向にあり、高志高校の具体的な入学定員については、今年10月に公表予定で、来年度の県立高校全体の入学定員を決定していく中で現在検討を進めている。

また、若狭高校の理数科は平成24年度の文理探究科の設置に伴い募集停止しており、他の理数科の在り方についても、できるだけ早い時期に方向性を示したい。

〔教育長－笠松泰夫議員〕

【高校再編】

坂井高校の教育方針は、企業・農業の現場で直接役に立つ技能、知識をもった坂井地区の企業等から求められる実践的な人材を育成、学科の専門性を越えた幅広い知識や技能を持った人材を育成すること。

生徒自らが企画し、地元の農産物を活用した学校独自の商品の開発販売、農業栽培における工業技術を活用したエコシステムの開発など学科連携の学習を積極的に展開し、生徒たちが意欲的に新しいことにもチャレンジしていけるような学校づくりを目指したい。

また、最新の工業技術、農業生産ができるよう施設・設備を新入学生の学習進度に合わせ、順次計画的に整備する。

今後は、早期の完成ができるよう工事の進捗管理を行い、農業施設等の刷新や校地の拡充なども検討し、学校としてより良い環境を早急に整えたい。

〔教育長－小寺惣吉議員〕

【少人数学級の推進】

文部科学省の来年度概算要求では、本県の要望を反映し、教員定数の改善に加え、外部人材を活用する方策などを掲げており、予算の実現を強く求め、国の制度を活用した人材確保に努めたい。

一方、児童数が50人以下の小規模な小学校が県下全体200校のうち32校あり、子どもたちのためにどういう学校規模がいいのかが課題。

なお、本県教育の一層の向上を図るために、教員がたくさんのことを勉強し、授業をわかりやすくする不断の努力が必要。〔知事－玉村和夫議員〕

【幼児教育】

「幼児教育支援センター」で、保育士と幼稚園教諭等が共に学び、相互に研鑽する幼児教育講座を開催。加古里子先生さんの指導を得ながらの絵本教育、由紀さおりさんなどの指導を得ての童話・唱歌の普及をはじめ、子ども同士が伝承遊びや主にグッド・トイの活用などを進めているところ。

また、5つの小学校区において、幼児教育と小学校の円滑な接続を図るカリキュラムづくりを支援し、実践的な連携を進めている。

さらに、保護者、祖父母など家庭での幼児教育力を高めるため、一日保育体験や親力向上プログラムの作成などの施策に一層力を入れたい。〔知事－中井玲子議員〕

平成25年9月県議会 主な論点

【発達障害児に対する支援】

昨年12月から小学校入学前のすべての5歳児の保護者に、本県独自の特別支援教育についてのリーフレットを配付し、特別支援学校などの就学説明会も開催。

入学後も特別支援教育センターの専門職員が、通常学級に入学した障害のある子どもたちの巡回相談を行い、最もふさわしい就学先の指導等を継続的に進めている。

[教育長－松田泰典議員]

【ICT等の活用】

タブレット端末を含めたICT機器を授業の中で十分に使いこなせるよう、基本的な機器操作研修を今年度重点的に実施したい。併せて必要となる機器の導入や校内の情報通信環境の整備を検討したい。

授業を変えるため、反転授業や教材の在り方など研究を進めていきたい。

[教育長－野田富久議員]

生徒のスマートフォン等の所持率98%、平日2時間以上の使用率40%。

高校1年生に対し、ネット上の何気ないやりとりが犯罪につながる事例などを取り上げ、具体的に利用に当たっての指導を行っている。

今後は、ネットから読書や校外活動などさまざまなものに目を向けるための指導を行い、使用のルールづくりを家庭の御協力もいただきながら指導を強化したい。

[教育長－野田富久議員]

【国語教育】

小学校6年や中学で、旧暦月の名前や古時刻の学習なども行っており、今後、旧暦の季語を用いた俳句、百人一首、漢詩・漢文などを通じて日本人が何を感じ、言葉でどう表現してきたかなどを学ぶことにも力を入れたい。

また、旧暦の多い伝統的な行事や祭礼等の意味を充分理解する教育の充実をしたい。[知事－斉藤新緑議員]

【競技力向上対策】

中学・高校の強化校や強化選手を認定し、オリンピックメダリストを育てたスーパーアドバイザーを、今年4月から26名66回、若い選手たちに直接実戦指導を行っている。

継続的に選手指導を行う優秀な指導者の県内招へいを進めるほか、全国の強豪チームが集まる雪の少ない温暖な地域への県外遠征の支援などにも力を入れたい。

また、県営体育館の改築を急ぎ、市町の国体競技会場整備を支援するとともに、様々な最近の備品整備などの応援も進め、福井国体のみならず、東京オリンピックを目指すような選手もたくさん育てたい。

[知事－西畑知佐代議員]

[答弁者－質問者]